

平成 28 年度 学校評価報告書 (目標設定 ・ 実施結果)

視点	4 年間の目標 (平成 28 年度策定)	1 年間の目標	取組 の 内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	一人ひとりのニーズに合わせた教育を実践する。 「自立と社会参加」をめざし、小学部から高等部まで子どもたちが主体的意欲的になる授業を実践する。	個の状況に応じた教科等学習を実践できるよう教育課程を再編成する。 授業支援チームを効果的に活用し授業改善を行う	自立活動中心の教育課程と知的代替の教育課程の内容の整理及び実践的な日課表の作成を行う。 授業 Co を窓口とし、校内相談カードシステムの定着と事例研究会を実施する。また授業改善の評価尺度の作成をおこなう。	教育課程の内容と日課表を整理できたか。 <内容の質的評価> 校内相談カードシステムの定着が図れたか。また授業改善の評価尺度が作成できたか。 <カード利用回数の量的評価、授業改善の質的評価> <評価尺度の質的評価>
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	一人ひとりのニーズを把握し、根拠に基づいた支援に取り組む。 アセスメントを充実させ授業に反映させる。	アセスメントや「個別教育計画」の記述の技術を高め、児童生徒の人権を大切に授業実践を行う。 iPad 等 ICT 教材を効果的に授業に生かす。	アセスメントの研修を計画的に取り組みアセスメントの結果を個別教育計画に反映させるための方法を検討する。また、様式も改善する。 iPad を使用した視覚教材を作成した授業実践を行ったり、コミュニケーションとしての活用を行ったりする。また、iPad 活用委員会で情報交換を行う。	計画的にアセスメントを進め個別教育計画に反映させることができたか。また、その様式を改善できたか。 <反映したケース数の量的評価> <改善の質的評価> iPad が有効に活用できたか <実践の量的評価> <利回数の質的評価>
3 進路指導・支援	ライフステージに応じた進路指導・支援を行う。	将来の生活を見据え、学習指導内容に指導の系統性を持たせる。あわせて進路学習を改善する。 作業学習の作業種や内容を改善する。	研修会見学会をおこない、保護者・本人、教員へ福祉制度や雇用の現状の情報を発信する。 系統性のある教育課程や内容を研究する。 社会自立支援員や専任が作業参観を通し、作業環境を改善し、作業意欲の向上につながる支援を行う。 作業学習の作業種や内容を検討する。	情報提供する機会を設け、十分な情報提供ができたか。 有効な研究ができたか <研修等回数の量的評価> <内容の質的評価> 作業学習の参観を継続的に行うことができ、作業環境が向上したか。 作業種等が改善できたか <参観回数の量的評価> <改善内容の質的評価>
4 地域等との協働	地域の支援教育のランドマークとしての役割を果たしつつ、インクルーシブ教育を推進する。 「情報発信力」を高め、保護者や地域との相互の支援活動を活発にする。	インクルーシブ教育推進のため、他機関との連携を行う。特に就学前の機関や高等学校等への支援の充実を図る。 ホームページのコンテンツや内容、レイアウト等の改善を行い情報発信力を高める。	近隣の保育園や子育て拠点への巡回相談を継続し、子ども、保護者、職員のニーズに応える。高校へは相談コーディネーター会議等を通して、積極的に情報を収集し、高校のニーズを探り連携する。 高等学校との共同学習を通して、インクルーシブナ教育への理解を図りながら連携を深める。 係りから各学部学年及び各カテゴリーの行事担当に記事を依頼すし、日常の授業等で取り組んだことや、学部学年の各種行事等を積極的に学校ホームページにアップする。	巡回相談や会議をとおして連携をおこない、個別のニーズを把握し、応えることができたか。 また、クルーシブ教育推進にむけた取組ができたか <回数等の量的評価> 学校の教育活動等を学校HPに積極的にアップすることができたか。 <内容の質的評価> <アップ回数、閲覧回数の量的評価>
5 学校管理 学校運営	信頼と期待に応える学校づくりを推進する。 安心で安全な教育環境の整備に取り組む。 効率のよい機能的な学校運営の推進に向け、組織の充実を図る。	地域や保護者と連携した学校防災を進める。 事故不祥事防止のため職員への啓発活動や作業工程を見直すことで事故不祥事防止に努める。 効率のよい学校経営を行うため業務のスリム化、カテゴリーの所掌内容を精選するとともに、組織の再編成を行う。	PTA 防災委員会と連携し、校内避難訓練を一緒に行い、学校防災に取り組むとともに特別避難所設営時におけるシミュレーションや物品確認に取り組む。 朝の打ち合わせや事故防止会議において、研修や情報の伝達をおこない職員の意識向上につとめる。 業務の精選・手続きの簡略化に取り組むことや校務グループの再編	PTA 防災委員会と連携し、校内避難訓練を一緒に行い、学校防災に取り組むことができたか。 特別避難所設営時におけるシミュレーションや物品確認に取り組むことができたか。 <訓練回数の量的評価> <物品やマニュアル整備の質的評価> 職員の意識の向上、行動改善ができたか。 <会議の内容の質的評価> <会議の回数の量的評価> <ヒヤリット、事故等の回数の量的評価> 組織の改善ができたか <内容の質的評価>